

化学基礎

2022年度共通テスト本試験について

- 大問数は2で、2021年度と同様、第1問は幅広い分野からの小問集合、第2問はリード文を読解した上で考察する問題が出題されました。第2問は、化学基礎の知識はもちろんですが、実験内容を正しく理解し、データを活用できるかが問われました。
- 難易度は、2021年度と比較して同程度でした。答えるべき問題の数も15と同じでしたが、読解の負担がやや増加したため、全体の負担感は2021年度と比較してやや増加しました。
- 全体を通して、物質の性質や実験内容を正しく理解できているかを問う問題が多く出題されていました。

過去3回の出題内容

難易度 A: やや易 B: 標準 C: やや難

2022年度本試験			2021年度本試験第1日程		2021年度本試験第2日程	
大問	出題内容	難易度	出題内容	難易度	出題内容	難易度
1	小問集合/物質の構成、酸と塩基、酸化還元反応、身のまわりの化学	B	小問集合/物質の構成、化学反応の量的関係、酸と塩基、酸化還元反応	B	小問集合/物質の構成、化学反応の量的関係、酸と塩基、酸化還元反応	C
2	実験問題/エタノールの蒸留	C	実験問題/陽イオン交換樹脂、中和滴定	C	実験問題/イオン結晶、水溶液中のイオン濃度	C

パワーマックスについて

編集方針

- 2022年度本試に合わせた形式の模試の掲載を増加(4本)させる一方、2018年度試行調査に合わせた形式の模試も1本掲載
- 最新の本試験に沿った形式だけでなく、試行調査で出題された形式も盛り込んだZ会オリジナル問題

書籍の特徴

- 対策の行いにくい**実験問題を、すべての回に収録**しています。
- さまざまな出題形式に対応できるよう、2017年度実施の試行調査で出題された**前問連動型の問題や、計算問題の数値を桁ごとに答える問題を、一部の回に収録**しています(1つの解答番号に複数のマークを行う問題は、出題していません)。

パワーマックス 化学基礎 出題一覧

新: 新規収録 / 難易度 A: やや易 B: 標準 C: やや難

第1回			
大問	出題内容	解答目安時間	難易度
1	新 小問集合/原子の構造、物質の識別、酸化還元反応の利用、周期表、物質量、中和滴定	15分	B
2	新 実験問題/酸化数、酸化還元反応	15分	C

第2回				第3回			
大問	出題内容	解答目安時間	難易度	大問	出題内容	解答目安時間	難易度
1	小問集合/原子の構造、混合物の分離、物質量、酸化還元反応、金属のイオン化傾向、身のまわりの化学	15分	B	1	小問集合/原子の構造、周期表、分子の形・極性、結晶、化学反応の量的関係、酸化還元反応	15分	B
2	実験問題/中和滴定	15分	C	2	実験問題/気体の分子量、中和滴定	15分	C

第4回				第5回			
大問	出題内容	解答目安時間	難易度	大問	出題内容	解答目安時間	難易度
1	小問集合/原子の構造、単体と化合物、物質の三態、化学反応の量的関係、酸と塩基、身のまわりの化学	15分	B	1	水に関する総合問題、身のまわりの化学	9分	B
2	実験問題/酸化還元反応	15分	C	2	読解問題/金属のイオン化傾向、酸化還元反応	10分	B
				3	実験問題/化学反応の量的関係	11分	C